

## (株)野村総合研究所

 は説明動画あり。

No.	技術シーズ	特許No.	内容
1	エリアマーケティングシステム	特許第5914549号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全国約18万の町丁目を地域ごとの住民特性で分類し、可視化する技術。</li> <li>・組み合わせて分析するデータ次第で高精度の販売促進計画作成等に活用できる(例:弊社ではTrueData社のIDPOSデータと掛け合わせて、「IDPOS翻訳サービス」として提供)。</li> <li>・弊社で「MarketTranslator」の名称で事業化。</li> <li>・デモ機あり。</li> </ul>
2	リモートショッピング	特開2018-92455	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の店舗棚をリアルタイムに映したスマホで、ユーザがタッチした商品を購入できる技術。</li> <li>・わざわざ実際の店舗に行かなくても、お店で買い物しているかのような臨場感あふれる買い物体験をオンラインで提供できる。</li> <li>・弊社内の社員向け売店で実証実験済。</li> <li>・デモ機あり。</li> </ul>
3	WEB検索結果要約作成システム	特開2018-173681	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内イントラネットや有償データベースなどの検索結果URLからテキストや図等の情報を取得し、サマリー資料を自動的に作成する技術。</li> <li>・労力不要で、情報整理等に活用できる。</li> <li>・デモ機あり。</li> </ul>
4	AI情報抽出システム	特開2019-16181	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを活用して、フォーマットが異なる非定型文書(請求書や契約書等)から重要な情報を自動的に抽出する技術。</li> <li>・会社や業務ごとに異なる重要情報(固有表現)を学習することが可能であり、弊社独自のチューニングを施してAIに学習させるため、高い精度で重要情報を抽出できる。</li> <li>・人手による業務を自動化するRPAと呼ばれる技術と組み合わせて活用できる。</li> <li>・日本語だけでなく中国語、英語の文書も対応可能。</li> <li>・デモ機あり。</li> </ul>
5	速読アプリ	特開2019-113908	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語を適切な長さで自動的に区切る技術と、眼球移動のロスを削減した表示方法を組み合わせることで、訓練することなく、アプリを利用するだけで、およそ通常の3倍速ほどで速く読めるようになる。</li> <li>・既存の書籍アプリのオプション機能として組み入れるカスタマイズ開発が可能。</li> <li>・開発済みアプリ「瞬間速読」公開中。</li> </ul>
6	モバイルプレゼンテーション	特許第6613272号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPad端末にアプリを入れるだけで、簡単に端末の画面共有と操作の同期(資料のページめくり等)を行うことが可能になる技術。</li> <li>・無線LANアクセスポイントやネットワーク設定等の事前準備は必要なく、シンプルな操作でユーザのスキルを問わずに様々なシーンで活用できる(例:観光ガイド、対面営業、プレゼンテーション、等)。</li> <li>・デモ機あり。</li> </ul>
7	既存スライドの利活用プレゼン作成支援システム	特願2019-53041	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PowerPoint編集時に、他のソフトウェアを起動させることなく、PowerPoint上でプレゼン資料のスライドを検索し、検索結果の中から所望のスライドをそのまま利活用する技術。</li> <li>・既存のプレゼン資料をシェアしあうことで、類似した内容の資料作成を効率的に行うことが出来る。</li> <li>・デモ機あり。</li> </ul>
8	ARギフト提供システム	WO2017/168978	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AR技術を活用して、ギフトとともに動画コンテンツ等を配信する技術。</li> <li>・商品やパッケージには直接記載できない関連情報を伝えられるため、新たなPOP広告ツールとしても活用できる。</li> <li>・デモ機あり。</li> </ul>
9	AIを用いた与信確認システム	特願2019-65832	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを活用して、企業の与信確認を効率的に行う技術。</li> <li>・確認対象の企業、人物(役員/株主)、住所の関係をシステムで見える化することで、怪しい企業や人物のつながりを簡単にたどることが出来る。</li> <li>・検索指定した各企業・人物に関するHPの記述内容を自動的に抽出し、ディープラーニング技術によりそれぞれのリスクスコアを算出し、与信評価の参考値として利用することが出来る。</li> <li>・デモ機あり。</li> </ul>